



振興作物

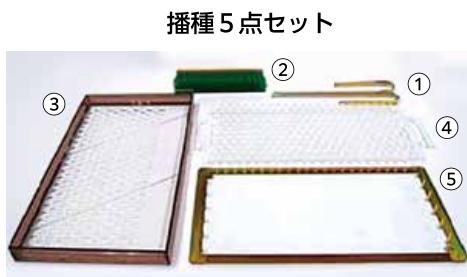
白ねぎの栽培管理（播種～育苗）

●播種準備

白ねぎは定植まで専用のポット「チエーンポット」（264穴）で約60日間育苗を行ないます。種子は10aあたり約21,000粒程度必要です。水稲用の苗箱で育苗を行ないます。水稲用の苗箱は10aあたり約40枚必要となります。育苗期間が長いので、ねぎ専用の育苗培土を使用します。

●播種

2月下旬から3月中旬にチエーンポットへ1穴あたり2粒を播種します。
※播種機についてはJAにて貸し出しを行なっています。



①展開串1組 ②土詰ブラシ1本
③ポットシーダー1台
④ポットプレート1台
⑤展開鉢5台

発芽適温は15～25℃のため、播種後

- ・葉先枯れが起こる
- ・苗箱の周囲部分が生育不良となる
- ・かん水が多すぎる場合の状況
- ・苗箱表面にカビやコケが生える
- ・苗箱の中心付近が生育不良となる
- ・苗が軟弱徒長する

はハウスまたはトンネルで育苗し、発芽までは保温資材をべたがけし、温度を確保しましょう。

※播種後の地温が27℃を超える場合は発芽不良になりやすいため注意しましょう。

●発芽後の管理

生育適温は日中15～20℃、夜間10℃程度が適温になります。
また、夜温の確保と日中の換気不足による苗やけに注意しましょう。

※最高30℃、最低5℃の範囲内で管理しましょう。

●かん水

播種直後のかん水は苗1枚あたり約2ℓを2回に分け行ないましょう。（しっかりとしみ込んでから2回目のかん水を行ないましょう。）

その後のかん水は、表面が乾かない程度に行ないます。過湿は発芽不良の原因となるため、かん水過多に注意しましょう。また、定植の1週間～10日前から徐々にかん水量を少なくし、葉色が薄い場合は、かん水時に液肥を適宜施用しましょう。

かん水が多すぎる場合の状況

- ・苗箱表面にカビやコケが生える
- ・苗箱の中心付近が生育不良となる
- ・苗が軟弱徒長する

葉のつやがなくなり黒ずんだ色となる

●苗の剪葉

苗の曲がりを防止し、定植作業をスマートに行なうため、3回を目安に剪葉（葉のカット）を行ないます。

剪葉のタイミングが遅れると倒伏しにくくなるので、注意が必要です。剪葉のタイミングが遅れると倒伏しにくくなります。

苗の定植時期は4月下旬から5月中旬頃となります。

剪葉回数	1回目	2回目	3回目
育苗日数	35～40日	40～45日	50日～
剪葉前草丈	14～16cm	16～18cm	18～20cm
剪葉後草丈	12cm	15cm	15cm

なびく

●直播き栽培のポイント

水管理

直播き栽培では、発芽するまでこまめにかん水を行ないましょう。（特ににんじんでは、種子が乾燥すると発芽率が低下するため、過乾燥に注意しながらの管理が重要になります。）

水管理 水分が多くなると軟弱な苗になりやすいため、土壤表面が乾燥しない程度の水分量を目安とします。また、かん水は基本午前中に行ないましょう。（夜間に水分が多いと急速に伸長し軟弱徒長を起こしやすくなるためです。）

温度管理 栽培品目ごとの発芽適温や育苗適温を確認し、こまめな温度管理を行ないましょう。特に、夜間は気温が下がりますので、発芽や育苗の温度を確保できない場合は、播種床を不織布やビニールのトンネルで覆い、温度を確保しましょう。（※トンネルをする場合は、日中の高温時には必ず換気を行ないましょう。）

●育苗・移植栽培でのポイント

水管理

直播き栽培では、発芽するまでこまめにかん水を行ないましょう。（特ににんじんでは、種子が乾燥すると発芽率が低下するため、過乾燥に注意しながらの管理が重要になります。）

水管理 水分が多くなると軟弱な苗になりやすいため、土壤表面が乾燥しない程度の水分量を目安とします。また、かん水は基本午前中に行ないましょう。（夜間に水分が多いと急速に伸長し軟弱徒長を起こしやすくなるためです。）

温度管理 栽培品目ごとの発芽適温や育苗適温を確認し、こまめな温度管理を行ないましょう。特に、夜間は気温が下がりますので、発芽や育苗の温度を確保できない場合は、播種床を不織布やビニールのトンネルで覆い、温度を確保しましょう。（※トンネルをする場合は、日中の高温時には必ず換気を行ないましょう。）

●育苗・移植栽培に適した品目

水管理

直播き栽培では、発芽するまでこまめにかん水を行ないましょう。（特ににんじんでは、種子が乾燥すると発芽率が低下するため、過乾燥に注意しながらの管理が重要になります。）

水管理 水分多くなると軟弱な苗になりやすいため、土壤表面が乾燥しない程度の水分量を目安とします。また、かん水は基本午前中に行ないましょう。（夜間に水分が多いと急速に伸長し軟弱徒長を起こしやすくなるためです。）

●育苗・移植栽培に適した品目

水管理

直播き栽培では、発芽するまでこまめにかん水を行ないましょう。（特ににんじんでは、種子が乾燥すると発芽率が低下するため、過乾燥に注意しながらの管理が重要になります。）

春播き野菜の栽培管理（春播き野菜の播種・育苗管理）

2月以降は、春まき野菜の播種時期となります。

播種・育苗のポイントを押さえながら管理を行ないましょう。

にんじん・だいこん・こまつな・しゅんぎくなど

キャベツ・ブロッコリー・レタス

育苗場所

日光の当たらない場所

では軟弱徒長しやすくなるため、日当たり・風通しの良い場所を選びましょう。また、地面への直置きは苗底部の風通しが悪くなり、蒸れや根張り不良の原因になるため、ブロックやたる木で下部分を浮かし、風通しを良くして、育苗を行ないましょう。

農業体験活動の発表の場

J Aひろしま三次地域「かべ新聞コンクール」

J A三次地域では、次世代を担う子どもたちに、食と農、いのちの大切さを理解してもらうことを目的とした、農業体験活動「ちゃぐりんキッズクラブ」を今年度も管内で開催しています。

また、平成23年度から、子どもたちの活動の成果の発表の場として、J A三次地域独自の「かべ新聞コンクール」を開催し、今年は市内の小学校9校から29点の応募がありました。

作品は、三次市教育委員会、J A女性部三次地区本部、J A青壮年連盟三次地区本部、J A三次地域で審査会を行ない、J Aふるさと祭のステージで表彰式を行ないました。受賞した児童は「手作業での稲刈り、田植えなどは大変だった。苦労して作ったかべ新聞が入賞して嬉しい」と受賞の喜びを話しました。



最優秀賞



田幸小学校 5・6年生

審査員特別賞



J Aひろしま三次ちゃぐりん大賞

川地小学校 3年生

最優秀賞

田幸小学校 5・6年生

J Aひろしま三次ちゃぐりん大賞

川地小学校 3年生

審査員特別賞

三次小学校 5年生1組4班
三次小学校 5年生2組7班
布野小学校 5・6年生3班
吉舎小学校 3年生



三次小学校
5年生2組7班



三次小学校
5年生1組4班



吉舎小学校 3年生



布野小学校
5・6年生3班



農業塾「あすなろう塾」 25期生卒立



▲閉講式を終えた塾生

J A三次地域の農業塾「あすなろう塾」が12月3日、最後の講義を終え、25期生が卒立しました。農業塾は管内の農業を志す定年退職者などが農業生産や経営について基礎から学び、塾生同士の親睦を深めながら技術や知識を習得しています。今期は野菜、花、加工品など直売所用の栽培や販売の基本を学ぶ「短期コース(全5回)」と、短期コースに加え鳥獣被害対策や農業簿記、土壤診断などの専門知識を学ぶ「専門コース(全10回)」を開講し2コースで8人が受講しました。これまでに、25期生を含む496人が修了しそれの地域で、塾での経験を活かしながら、経営規模や条件に即した農業に取り組んでいます。

最後の講義では、塾生一人ひとりが、10回のカリキュラムを振り返り、今後の挑戦目標や営農計画を作成しました。

きらり女性部活動

令和7年度 女性部大会・家の光大会・グループ活動交流会を開催！

J A女性部三次地区本部は12月4日、三次市民ホールきりりで令和7年度女性部大会・家の光大会・グループ活動交流会を開き、女性部員、J A役職員関係者ら約250人が参加しました。大会では、「SDGsの理解を深め、安全で安心な食と農、環境を守る活動に取り組む」等、4項目の申し合わせを行ないました。

ステージでは女性組織活動体験発表として河内支部・丸堂恵子さんの発表や家の光記事活用体験発表として酒屋支部・今井仁美さんが発表を行ない、自身の女性部活動を通じた体験を発表しました。また、アトラクションとして、フラダンスグループの発表やフレッシュミズ部会の三次地区本部、庄原地区本部合同による歌、各支部長による「三次どんちゃん」等が披露され会場は大いに盛り上りました。

体験発表
表彰

▲酒屋支部・今井さん



作品展示コーナー



支部長による「三次どんちゃん」



三次地区・庄原地区合同のフレッシュミズ部会



アトラクション



「アロハローゼ河内・ミワ」のフラダンス

農業塾

あすなろう塾

令和8年度 塾生募集!!

三次地域の農産物の栽培・加工・販売のノウハウを学び、
産直（JA交流広場「とれたて元気市」）へ農産物を販売してみませんか。

短期コース

令和8年4～7月
平日半日研修 全5回
受講料 5,000円
座学や農業の現地研修による
野菜、花卉、果樹の基礎知識研修を実施

専門コース

令和8年4～11月
平日半日研修 全10回
受講料 10,000円
前半は短期コースと同様の内容を学び、
後半では獣害対策や土壤肥料、営農計画作成、
経理等の基礎研修、野菜農家との交流会を実施

○募集締切：令和8年3月6日（金）
○開講日は4月中旬を予定しています。
※新規塾生募集説明会開催（2月中旬頃）予定

【お問い合わせ先】

J Aひろしま三次地域営農経済センター Tel0824-66-3876
または 各支店、営農指導員まで



J Aグリーンみよしから きのこ栽培講習会 のお知らせ

美味しい椎茸やナメタケなどを作るコツを知りたい、植菌から栽培管理まで、日頃の疑問点を解消します。初めての方からどなたでも参加できますので、是非、JAグリーンみよし店までお越しくださいませ★

日 時：令和8年2月7日（土）
午前10時30分～

場 所：JAグリーンみよし
(三次市廻神町3370)

参加費：無料

★同日はしいたけの
駒菌を特売で販売して
いますのでこの機会に
お求めください

お問い合わせ先：Tel0824-66-2323



（株）三次ケーブルビジョンコミュニティチャンネル
農業情報番組ガイド 111ch

放送時間 7:00～7:15・12:00～12:15・19:40～19:55

放送日	内 容	担当者
2月2日(月)～2月8日(日)	春まき野菜の播種・育苗・栽培管理について	行竹
2月16日(月)～2月22日(日)	小菊の挿し芽・定植・定植後の管理について	田玉

※放送内容（予定）は変更になる場合もあります。

2月のお知らせ カレンダー

2月14日(土)
ふれあい活動